

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	12-2																																								
PDCA	主要事業名	民間人材活用事業（6次産業化）	部課名	市民経済部産業課	担当 内線	花田 316																																									
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 3 単位施策： 農業 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 6,491 千円 会計 一般会計 歳出科目： 05.01.03.02.50						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																								
	事業概要等	事業概要： 農業を起点とした地域プラットフォームの創出や農家の個力の向上、情報発信強化を目指し、農家の価値を高めるための支援を行う。その一つとして、農家とともに農業マルシェを開催し、農家主体の地域プラットフォームが構築できるよう進めていく。																																													
		事業目的： 農家の価値を上げ、農業に寄与した地域活性化を図る。																																													
		事業内容： 農業マルシェの開催、農業の魅力発信																																													
		問題点： 耕種は小さな経営体が多く、農家同士のつながりが少ない。また、市民の半課題等： 田の農業への関心度が低いことが課題である。																																													
	予算額	主要事業とする理由																																													
	6,491 千円	農業に寄与した地域活性化を図ることは重要であるため。																																													
	財源内訳																																														
	市費	得られる成果																																													
	6,491 千円	農業を起点としたつながりの構築、農業の持続性や地域資源として感じられる場と機会を創出することにより、農業の価値を高めるとともに、農家の個力の向上につなげる。																																													
	国費																																														
	0 千円																																														
	県費	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">知多半島農業マルシェ参加農家数</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td>40</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	知多半島農業マルシェ参加農家数	実績値			-	件	目標値			40	件		実績値					目標値					その他	実績値					目標値					
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																									
	知多半島農業マルシェ参加農家数	実績値			-	件																																									
目標値				40	件																																										
	実績値																																														
	目標値																																														
その他	実績値																																														
	目標値																																														
0 千円																																															
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果																																													
	6,255 千円	農家同士や農家と他業種とのつながりの構築、農業の持続性や地域資源として感じられる場と機会を創出することにより、農業の価値を高めることができた。また、農業なんでも相談での個別相談や県研修会参加により、農家自身が考え、行動に移せるようになった。																																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">知多半島農業マルシェ参加農家数（累計）</td> <td>実績値</td> <td>63.0</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>40.0</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		令和5年度	単位	知多半島農業マルシェ参加農家数（累計）	実績値	63.0	人	目標値	40.0	人																													
	成果指標		令和5年度	単位																																											
	知多半島農業マルシェ参加農家数（累計）	実績値	63.0	人																																											
		目標値	40.0	人																																											
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 地域プラットフォームの創出を図るため、農家が集まり、ゲストと農家が語り合い、学び合う機会として「〇〇と語り合う会」を3回開催し、農家同士の交流を深めた。（ゲスト：①市長②市民③飲食店）また、農家同士や農家と市民のつながる機会、半田の農産物を販売する場として、知多半島農業マルシェ「にこもぐ」を4回開催した結果、半田市内外から延べ63名の農家が参加し、農家同士のネットワークを構築することができた。 農家の個力を高めるため、農業なんでも相談窓口を開設したことで、法人化や経営に関する相談を気軽にできる環境が整い、県事業の研修に参加するなど農家の学ぶ意欲が高まった。（相談件数：25件） 情報発信強化のため、SNS開設、展示用パネル・農家紹介用チラシ作成などを行ったことでメディア掲載にもつながり、半田の農家の魅力を発信することができた。（メディア掲載数：10件）																																													
A 課題の解決方向性に向けた	今後の事業の方向性	拡充推進 半田を中心に知多半島の地域連携を進め、知多半島一帯を巻き込んだ農業マルシェを開催し、知多半島プラットフォームの創出を図ることで、半田・知多半島の農業の魅力向上につなげる。 また、ECサイトを利用しデジタル技術を活用した販路拡大にもつながる支援を行うことで、半田の農業の活性化を図る。																																													
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																									
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地	ない																																										
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	ない																																										
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																													